

■「稚内市人口ビジョン(案)」、「稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対するパブリックコメント結果

	関係箇所	意見	回答	担当課
1	<p>【人口ビジョン】</p> <p>1. 目指すべき将来の方向 (P46)</p> <p>【総合戦略】</p> <p>(3) 地元大学の振興(P13)</p>	<p>なくてはならない稚内北星学園大学の存続は危機的な状況にあり、「活用を目指す」、「連携強化」にとどまらず、市の大きな関与、支援の方向を打ち出すべき。</p>	<p>稚内北星学園大学に対しては、市として、これまでも施設整備に対する補助や貸付を実施しており、さらに本年度からは、学生確保等のための補助金や、経営安定のための貸付も実施しております。</p> <p>今後は、総合戦略に記載しているとおり、学生募集やキャリア教育に対する支援を拡充していくとともに、大学の存続に向けた市としてのさらなる支援体制について、大学側と十分協議し、方向性が固まり次第、総合戦略にも追加してまいります。</p>	教育総務課
2	<p>【人口ビジョン】</p> <p>1. 目指すべき将来の方向 (P46)</p> <p>【総合戦略】</p> <p>Ⅱ 本市の魅力と特色を広く発信し、新しいひとの流れをつくる(P12)</p>	<p>稚内市は、道内中小都市の中でも出先機関の数が多く、そこに勤める人の人口全体に占める割合の高い都市であるが、その中で単身赴任者の割合も多い。人口減少にブレーキを掛ける意味でも、家族と共に稚内に住んでもらう運動、方策を進めるべき。</p>	<p>単身赴任者の家族での移住については、本市にとって大きなメリットになりますが、配偶者の仕事や子供の転校など、個別の事情があるため、一律にお願いすることは難しい状況です。</p> <p>しかし、単身赴任は、家族が離れて暮らすことであり、経済的にも負担が大きいことから、本市の充実した子育て環境や買い物等の生活基盤が充実していることをアピールできれば、家族での移住のきっかけづくりに出来るものと考えております。</p> <p>今後については、総合戦略で取り組むUIターン推進の一環として、関係機関に対しても、本市の魅力や生活関連情報などを、積極的に発信してまいります。</p>	エネルギー協働課
3	<p>【総合戦略】</p> <p>(4) 重要港湾「稚内港」を活用した産業の振興(P9)</p>	<p>「中心市街地の活性化」において、KPIで「住民満足度アンケート」をあげているが、これをKPIとするのであれば、全体として他の項目で「検討事項」としている項目もKPI設定を行うべき。例えば、「重要港湾「稚内港」を活用した産業の振興」における「北極海航路利用船舶や大型貨物船の拠点港としての調査」も、KPIとして設定すべき。</p>	<p>北極海航路については、国や北海道において調査を行っており、本市においても積極的に情報収集に努めてきましたが、現状は、燃料価格の低減に伴い、航路優位性の見直しが行われている状況にあります。</p> <p>また、大型貨物船については、平成25年の港湾計画改定時に調査を行い、その後も船社、代理店から情報提供を受けていますが、貨物動向に大きな変化はない状況です。</p> <p>そのため、現状でのKPIの設定は難しいと判断しておりますが、今後も稚内港の活性化に大きなポテンシャルを持っている北極海航路や大型貨物船の情報収集に努め、対応を図ってまいります。</p>	港湾課

■「稚内市人口ビジョン(案)」、「稚内市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対するパブリックコメント結果

	関係箇所	意見	回答	担当課
4	【総合戦略】 (5)中心市街地の活性化(P10)	「中心市街地の活性化」において、「キタカラの賑わいの周辺商店街への波及」は、キタカラ建設中より大きな課題となっていたが、いまだに進んでいない。中心市街地については、キタカラと周辺商店街だけではなく、平成16年に策定された「都市再生ビジョン」に立ち返り、「市役所周辺から港へ、北防ドームから第一副港へ」まちあるきの要素も取り入れて縦軸、横軸の連携を考えるべき。加えて、市役所庁舎の建替えも視野にいれて中央地区の将来の姿を見据えて検討すべき。	これまでも「中心市街地の活性化」については、「都市再生ビジョン」をもとに、稚内市、商工会議所、商店街、町内会、まちづくり稚内、稚内北星学園大学等が連携し、駅前通りを「都市軸」とした駅周辺商店街の活性化を図って参りましたが、“線や面”への活性化に繋がっていないのが現状であります。 ご指摘のとおり、まちの賑わいは「楽しくまち歩きができる」ことも大きな要素であります。 現在、駅前通りを都市軸とした縦軸・横軸の動線の活性化を推進するために「中央地区再生会議」が展開されております。 また、総合戦略においては、今後、市民や当該地区事業者へのアンケートを実施することで、“まちへのニーズ”や市役所の今後のあり方”等を確認するとともに、中心地区の「フットパス動線」を活かしながら駅・フェリーターミナル・副港市場の3つの施設を拠点とした面としての整備を構築し、賑わいを創出していこうと考えております。	水産商工課
5	【総合戦略】 (1)観光産業の振興(P12)	「観光産業の振興」については、これから益々、個人、グループ旅行が増え、そのニーズも多様化するなかで、1次産業から3次産業まで様々な対応が求められている。観光がこれからの稚内の発展を左右することから、稚内市全体を網羅した観光戦略会議を創設し、これを基としたKPIを設定すべき。	本年3月に策定した「稚内市観光振興ビジョン」においても、頂いたご意見と同様に、観光事業に携わる団体や人をはじめ、この地域に暮らす人も含めた多様な世代と人により構築された新たな体制づくりの必要性について記載しており、その実現に向けて、検討を進めております。 総合戦略で示したKPIについては、当該ビジョンを踏まえ、観光関係団体の横の連携を強固にし、安定した観光振興基盤を構築するとともに、多様化する観光ニーズに対応するため、観光関連以外の産業や人との広範囲にわたる連携を視野に入れながら進めていくことを前提に設定しているところであります。	観光交流課